

News & Schedule | information

長崎原爆病院での開催行事やイベントをご紹介します。

News

2024. 10月12日(土)
大規模災害訓練
2024. 10月26日(土)
令和6年度新規採用者院外研修
2024. 11月28日(木)
地域医療連携学術講演会
2024. 12月13日(金)
互助会忘年会
2024. 12月27日(金)
仕事納め式

Schedule

2025. 1月6日(月)
仕事始め式
2025. 1月24日(金)
NASHIM韓国医師受入研修

Instagram始めました！
フォローお待ちしております！



日本赤十字社長崎原爆病院の理念

人道・博愛の赤十字精神のもと、地域並びに被爆者の皆様へ良質な医療を提供します

【病院の基本方針】

1. 安全で良質な医療を提供します
2. 被爆者の健康管理と診療の充実に努めます
3. がん診療の拠点病院として医療の充実に努めます
4. 医療連携を促進し、地域医療に貢献します
5. 積極的に災害救護活動を行います
6. 人間性豊かな医療人の育成に努めます

【患者さんの権利と責務】

患者さんの権利

1. 個人の尊厳が保たれ、良質な医療を公平に受ける権利があります。(医療を受ける権利)
2. 病状や診断、予後、治療方法などについて、わかりやすい説明を受ける権利があります。(知る権利)
3. 病状や治療方法、予後などについて十分な説明を受けたうえで、治療や検査を受けるか否かを決定する権利があります。(自己決定の権利)
4. 主治医以外の他の医療機関の医師に相談する権利があります。(セカンドオピニオンの権利)
5. プライバシーや個人情報が守られる権利があります。(プライバシー・個人情報保護の権利)

患者さんの責務と病院からのお願い

1. 自身の健康に関する正確な情報を医師・看護師など医療従事者にお伝えください。(診療情報提供の義務)
2. 医師・看護師など医療従事者の説明を理解するよう努め、治療にご協力ください。治療方針に疑問がある場合は、遠慮なくご相談ください。(診療協力の義務)
3. すべての患者さんが適切な医療を受けられるよう、病院の規則を守り、暴言・暴力・セクハラ・診療の妨げとなる迷惑行為等はしないでください。(規則を守る義務・迷惑行為の禁止)
4. 適切な医療が維持されるように、医療費を遅滞なくお支払いください。(医療費支払いの義務)
5. 医療人の育成のための教育や、高度の医療を提供するための臨床研究に、可能な限りご協力ください。(医療人育成教育と臨床研究への協力)



vol. 15

2024

ホッと安心
ホットな気持ちで
情報をクロス！



当院の門松

HOT NEWS

- ・ 院長より新年のご挨拶
- ・ 看護部長より新年のご挨拶



院長より新年のご挨拶

日本赤十字社長崎原爆病院
院長 谷口 英樹

日本赤十字社長崎原爆病院をご利用の皆様、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。令和7年を迎え心機一転良い年にするように頑張ってみましょう。さて、今年の干支は巳です。以下に巳年の特徴を調べてみました。巳年（へびどし）の特徴は、干支における「蛇（へび）」が象徴する性質に基づいています。蛇は古来より、知恵、直感、慎重さ、再生、変化などの象徴として知られています。

蛇は静かに観察し、機会を見極めて動くことから、物事を慎重に考え、計画的に進める力が強いとされています。また、蛇は一步一步確実に進む生き物であるため、慎重に物事を進めることが求められる年です。巳年においては、計画的に行動し、焦らず着実に結果を出すことが重要です。

加えて蛇は脱皮を繰り返すことから、再生や変化の象徴でもあります。巳年は、過去の古いものを捨て、新たな始まりや変革の年とされています。この年は、古い習慣や考え方を見直し、より良い未来に向けて変化を促進するのに適した年だとされます。これらの特徴から、巳年は知恵を活かし、計画的かつ慎重に行動し、変化を受け入れることで成長や成功を遂げることができると言えるでしょう。わたくし共もこれにあやかって病院として成長を遂げる1年にしたいものです。

当院も昨年新病院グランドオープンから5年目を迎え、県内外から多数の出席を頂き、5周年記念行事を行いました。無事5周年を迎えられましたのも当院をご利用いただく皆様のお力添えがあってこそ、と心より感謝いたします。

さて、コロナ禍も5年目となり、世の中は全く制限なくイベントなどが催されており、人の移動も多くみられます。それはそれで歓迎すべきことであると思いますが、当院は医療機関であり、高齢の皆様や免疫能の落ちた皆様も多く出入りいたします。現在当院では職員に対してはマスク着用の厳守、毎日の自身の健康管理、手指消毒の励行等感染防止策を徹底いたしております。当院ご利用の皆様におかれましても症状を中心とした感染に関する問診、出入り時の手指消毒、院内でのマスク着用、面会の制限など色々とお不便をおかけいたしますがご理解とご協力をお願いいたします。また、先に述べましたように世間一般の規制が以前よりもかなり緩和されている状況ですので医療機関のみゼロコロナであり続けることは極めて困難です。極力感染予防には努めておりますが、院内感染を含めた不測の事態も完全に防止することはできないこともまた理解いただきたいと思ひます。

昨年から本格的に導入致しましたロボット手術（ダヴィンチXi）ですが、泌尿器科、外科（大腸手術）の症例数は順調に伸びております。今後は呼吸器外科手術の導入に向け準備を進めてまいります。今後とも最先端の技術を用いた低侵襲手術を施行いたすべく努力してまいりますので、ご期待いただければと思ひます。

色々制限のある中ですが、当院といたしましてはご利用の皆様の健康状態が損なわれないよう職員一同全力を尽くすつもりですので、安心してご利用ください。これからも地域に根差した急性期病院として、被爆者医療はもとよりがん診療を含む一般診療、災害救護等課せられた使命を全うするべく頑張ってみます。

改めまして、今年もよろしくお願ひいたします。

看護部長より新年のご挨拶

看護部長 中村 清美

皆様明けましておめでとうございます。

昨年は地震や航空機事故で辛い幕開けでした。相変わらず、医療現場は年末年始も感染症対策で逼迫しておりましたが、穏やかに新年を迎えられたことには安堵しております。

さて、社会が抱える少子高齢化「2025年問題」ですが、東北の震災に悲嘆し、世界的パンデミック「コロナ禍」に翻弄される中、東京オリンピックは終わり、コロナ禍が明けるや能登の震災、瞬く間にその当該年度を迎えています。各業界同様に労働者減少に伴う問題に直面し、生産性を如何に確保し、質を落とさず業績に繋げていくかと取組んでおります。

当院も電子カルテの更新を機会と捉え、限られた人員でも効率的に業務が遂行できるように、自動化やAI等のデジタルツールを活用して労働生産性向上を目指そうと模索中です。また、患者やご家族、職員が納得（満足）いく、医療・看護を提供する為には、職員が一丸となって取組まなければ医療・看護の質の維持・向上は期待できません。病院が目指す方向（ビジョン）を示し、職員のベクトルを合わせるべく、戦略的マネジメントシステムの手法（BSC）を活用した病院全体での取組を始めました。病院BSCから各部門・各部署のBSCによる戦略マップへと展開し、当院が担う地域がん診療拠点病院や地域医療支援病院、地域災害拠点病院としての役割や機能が発揮できるように職員個々が目標を持って、部門間を超えたチームで取組んで参りましょう！

そして、地域（在宅）で暮らす患者・ご家族に安心を与えられる医療・看護を提供するために、医療・介護・福祉を担う地域の皆様方とも、これまで以上に連携を強固にして取組んで参りましょう。

地域の皆様の身近で利用しやすく、頼りになる、職員には働きやすい病院を目指して、より良い環境の提供にも努めてまいります。

皆様、今年もどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。



本年もよろしく
お願ひ
申し上げます

